

参加費無料

要事前申込み

日時

2023年 2月28日(火)
14:00~16:30

開催方法

オンライン開催 (Zoom)

申込み



締め切り 2月21日(火)

問い合わせ

問い合わせ先
掛橋智佳子 c.kake773@gmail.com

主催

職場の日本語プロジェクト

科学研究費・基盤研究 (C)「外国人就労フィールド調査と「職場の日本語能力指標」及び「支援プログラム」の開発」(課題番号: 17K02795)

科学研究費・基盤研究 (C)「外国人就労現場における「対話型日本語評価活動」と「職場支援プログラム」の開発」(課題番号: 21K00610)

後援

三田市国際交流協会 多文化地域ラボ

対話で築くワークプレイス

外国人と共に働く場を創り
共に暮らし続けるために――

シンポジウム

「日本人は、会社の利益や損失については考えてきたが、人間として生活する、ということについては考えてこなかった」

これは、日本人を配偶者に持ち、建設の現場で働く、ある人のことばです。

少子化にともなう労働力不足が進む中、外国人が、働き手として注目されています。しかし、外国人は日本の働き手不足を補うために、日本に存在しているのでしょうか。冒頭のことばは、人間が仕事をするのは、どこかの国や会社のためではなく、自分自身がよりよく生きるためであるということであらためて考えさせてくれます。

では、外国人、日本人、すべての人が、仕事を通じて社会参加し、安心して生活できるようにするためにどうすればいいのでしょうか。働く人が自らの力を発揮し、相互に信頼を寄せあえる職場をどのように実現できるのでしょうか。そして、そのためには、職場のコミュニケーションをどのようなものにしていけばよいのでしょうか。

本シンポジウムでは、外国人就労の現状と課題について話し合い、外国人が安心して働ける場を創るために私たちに何ができるのか、「多文化共生社会におけるネットワーク作り」、「外国人とともに働く場作り」、「職場のコミュニケーション」の観点から考えます。

シンポジスト

NPO法人 多文化共生リソースセンター東海
土井佳彦

神戸アジア食堂バル SALA
黒田尚子

職場の日本語プロジェクト
立命館アジア太平洋大学
大平幸

関西学院大学
森本郁代

武蔵野大学
藤浦五月

関西学院大学
佐野真弓



登壇者プロフィール

NPO法人 多文化共生リソースセンター東海

土井佳彦

1979年、広島生まれ。大学で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生らを対象とした日本語教育に従事。同時に、地域日本語教室にもボランティアとして参加。2008年、東海地域における多文化共生分野の中間支援NPOとして「多文化共生リソースセンター東海」の立ち上げに参画し、翌年の法人格取得とともに代表理事に就任。また、2009年にNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の理事に就任し、2018年より代表理事を務める。

神戸アジアン食堂バル SALA

黒田尚子

神戸市出身。関西学院大学人間福祉学部社会起業学科在学中に、日本の社会に馴染めないアジア人女性達と料理を通じて交流を深める。卒業後、リクルートライフスタイルで3年間勤務した後、2016年7月「神戸アジアン食堂バルSALA」をオープン。

「Empowerment of all people」をコンセプトにタイ、台湾、フィリピンなど総勢8カ国のスタッフと共に働いてきた。2022年5月にはテイクアウト専門店「SALA cloud」をオープンし今に至る。

職場の日本語プロジェクト

<https://syokubanonihongo.jimdofree.com>

「外国人が安心して働ける場を創り、外国人の活躍の場を広げる」という目標に、職場でのコミュニケーションの問題からアプローチするプロジェクト。現在、研究者、外国人日本語学習支援者等9人のメンバーで活動を行っている。職場でのコミュニケーション調査をもとに、職場における日本語能力指標を開発している。また、コミュニケーションについて考えるワークショップを実践している。プロジェクトの活動を通して、国際化と多様化が急速に進む現在の日本において、多文化共生社会の実現を目指す。

